

3. 宮城県内の産地提案書

角田市

移住者・若者大歓迎！！
農業で地域を盛り上げる仲間を募集中

角田市は、阿武隈川沿いに広がる米作地帯で、「ひとめぼれ」や「つや姫」などを作付けしています。また、比較的温暖で雪も少ないため、野菜・果樹・花き・畜産など多種多様な農業が行われています。

自営就農だけでなく、地域おこし協力隊や雇用就農など、安定した収入が見込める就農もあり、それぞれに合った営農スタイルをサポートします。

実は、先輩農家や担当職員にも移住者が沢山います。移住の不安や悩みにも親身になって相談に乗ります。是非お問い合わせください。



就農支援

角田市では、角田市農業振興公社が窓口となり、相談→農地の紹介・見学→経営計画の作成→補助金の案内→就農までをワンストップでサポートします！

移住や自営就農だけでなく、「農業には興味があるけど…」という方のご相談にも幅広く対応し、あなたに合った農業のスタイルを提案します。

あぶくま農学校

公社では、「あぶくま農学校」で都市部の小学生との農業交流事業や、就農希望者向けの農業体験「土の塾」を実施しています。

また、道の駅などで就農相談、移住相談イベントも行っています。日程はHPで公開しているので関心のある方は是非お問い合わせください。

新規就農者インタビュー

角田市農業振興公社HPでは角田市に就農した新規就農者へのインタビュー記事を公開しています。

新規就農者の中にも移住やUターンの先輩が沢山います。角田の魅力を聞いてみてください。(詳しくは右記QRコードをチェック)



お問合せ先：(公社) 角田市農業振興公社 TEL：0224-63-2328 E-mail：kakuda@kakunou.or.jp
角田市農林振興課 TEL：0224-63-2119 E-mail：nourin@city.kakuda.lg.jp

蔵王町

蔵王の自然の中で農業を！

農業と観光の町、蔵王町。霊峰蔵王がもたらす豊かな自然の中で、1年を通じてさまざまな農産物が収穫されます。日本梨やりんご等の果樹類を始め、大根・里芋・つるむらさきなど県内でも有数の生産量を誇る作物がたくさんあります。他にも酪農や畜産、養鶏、稲作なども盛んにおこなわれています。

農業の町、蔵王で、農業始めてみませんか？ご相談お待ちしております！

就農支援体制

蔵王町ほか関係団体等と協力しながら就農をサポートしていきます。

就農相談について、どんな些細なことでも構いません。随時受け付けていますので、ぜひお問い合わせください。



新規就農者支援策

●蔵王町農業経営者育成対策支援事業
担い手として、蔵王町の農業経営者になる強い意志がある方を支援します。

・支援内容
年間60万円 × 5年間

他にも、

- 蔵王町特定園芸施設促進事業補助金
 - 蔵王町果樹振興新植対策事業補助金
 - 蔵王町収入保険加入促進事業補助金
- など、複数の農政関係補助事業があります。

※詳しくは蔵王町農林観光課までお問い合わせください。

お問合せ先：蔵王町農林観光課ブランド振興係
TEL：0224-33-3004 E-mail：brand@town.zao.miyagi.jp

七ヶ宿町

七ヶ宿町で農家になりませんか？

七ヶ宿町は、豊かな自然・白石川の源流のきれいな水を活かした米づくりが盛んな町です。平成30年には、宮城県内のコメを通じた農業振興と地域づくりの優れた取り組みを表彰する「オリザ賞」で、七ヶ宿源流米ネットワークが大賞を受賞しました。近年は、涼しい気候を活かしたブロッコリーや玉ねぎの生産に取り組む若手農家もいます。



就農支援体制

- 新規就農者の機械導入や施設整備等の事業に、補助率1/2上限100万円の補助を行います。
- 町の振興品目に定められた作物を栽培し販売する場合は、資材や種苗代を上限5万円まで助成します。

移住支援

- 地域の担い手として地域活動を行う30歳未満の方には、「次世代リーダー定住育成助成金」として、毎月2万円を最長3年間給付します。
- 空き家の改修には上限100万円の費用助成があります。

先輩就農者の声

- ブルーベリー農園と野菜の施設栽培を行いながら、繁忙期は農事組合法人ライスファーム七ヶ宿でアルバイトをしています。
- 地元の方々がとても協力的な七ヶ宿町は、互いに助け合う風習が根付いていて、新規就農者にとっては理想の土地だと思います。



お問合せ先：七ヶ宿町農林建設課

TEL：0224-37-2113 E-mail：shichi22@town.shichikashuku.miyagi.jp

柴田町

柴田町で花農家になりませんか？

柴田町は、「花のまち柴田」いうキャッチコピーのとおり、桜まつりや曼珠沙華など1年を通して花を楽しむことができる町です。柴田町内6つの直売所には花農家が丹精込めて育てた花々が並び、町内外から高い評価を受けています。

花のまち柴田で、人々の生活に色を添える花を育ててみませんか。



就農支援体制

柴田町・柴田町農業委員会・大河原農業改良普及センター・JAみやぎ仙南等が一体となって就農を支援します。

就農に対する相談は、随時行っております。柴田町農政課まで気軽にご相談ください。

求める人材

- 農業に興味のある方。
- 地域との交流ができる方。
- 健康で意欲のある方。
- 柴田町を元気にしてくれる方。

先輩就農者の声

新規就農するにあたって、一番不安な部分が販売力だと思いますが、柴田町には花卉生産組合と、柴田鉢花研究会の2つの組合があり、先輩花農家からの技術指導や販路確保の助言をもらうことができます。



お問合せ先：柴田町農政課

TEL：0224-55-2122

E-mail：agradm@town.shibata.miyagi.jp

川崎町

川崎町で農業はじめませんか？

川崎町は、蔵王山麓の豊かな自然のもと、冷涼な気候で過ごしやすい環境にあります。農作物は清らかな水による良質な米づくりが中心ですが、近年は耕作しやすい黒ぼく土壌を活かした園芸野菜の栽培も広がりを見せています。

町では、水稻や畜産に加えて園芸作物の栽培を推進し、野菜や果樹の栽培を始める新規就農者へ農業用機械やハウス導入を支援する事業等を独自に行っています。また、新たに就農をお考えの方には、農地等の紹介や就農相談など随時ご対応いたします。



就農支援体制

- 川崎町、川崎町農業委員会、大河原農業改良センター、JAみやぎ仙南等が総合的に就農を支援します。
- 農業技術指導員による営農に関する相談や就農後のフォローアップ体制も充実しています。
- 空き家バンクを活用した借家や農地の紹介も行っておりますので、まずはお気軽にお問合せください。

求める人材

- 川崎町に居住できる方
- 健康で農業に対する意欲がある方
- 地域との交流ができる方
- 水田を活用した土地利用型作物による営農を目指す方（大歓迎）

先輩就農者の声

株式会社耕不尽

川崎町地域おこし協力隊として3年間活動し、同じ野菜作りの師匠のもとで農業研修を受けていた仲間と共に農業生産法人を起業しました。地域の皆様からの温かいご支援をいただきながら、楽しく充実した日々を過ごしています。（代表）



お問合せ先：川崎町農林課農業係 TEL：0224-84-2304 E-mail：nourin@town.kawasaki.miyagi.jp

丸森町

手厚いサポート体制で皆さんの新規就農をサポートします！

丸森町は宮城県の最南端に位置し、町の北部を阿武隈川が貫流しています。農業はその支流地域の平坦部を中心に行われており、水稻や酪農が盛んな町です。

就農サポート体制が充実しており、町独自の補助制度（国の制度と合計で最大3,119万円）や関係機関と連携した技術指導体制を整えていますので、貴重な担い手である皆さんからのご相談をお待ちしております。



就農までの流れ

- 1 就農相談（役場・普及センター）
- 2 情報収集・農業体験
- 3 就農に向けたビジョンの検討
- 4 農業研修（1～2年）
- 5 農地・住居等の確保
- 6 新規就農（独立自営）

先輩就農者の声

4年前に地域おこし協力隊として着任し、未経験だったイチゴの栽培技術を一から学び、就農先の農業法人ではイチゴ部門を任されるようになりました。

住居だけが決まった状態で町に相談しに行ったのですが、とても親身になってサポートしていただき、無事に就農することが出来ました！



お問合せ先：丸森町農林課農政班 TEL：0224-72-2113 E-mail：nosei@town.marumori.miyagi.jp

仙台市

109万都市は農業都市の顔も持つ

仙台市は東部は太平洋に面した平坦地、西部は丘陵地と変化に富んだ山間地。

この恵まれた自然条件を活かし稲作をはじめ、野菜、花き、畜産など多彩な農業生産が行われています。

都市農業という立地環境と地域特性を活かし、農業を始めてみませんか。



新規就農相談会

- 市内で新規就農を希望する方を対象に、月1回新規就農相談会を開催しています。
- 仙台市、宮城県仙台農業改良普及センター、JA仙台、農業委員会の担当者が集まり、ご相談にお応えします。
- 参加ご希望の方は、お問い合わせください。

新規就農支援① 農業用小規模機械導入補助

農地の耕作に要する管理機、小型トラクター、防除機、除草機等の導入に対する補助を行います。

- 対象 認定新規就農者
- 補助率 1/2以内（上限10万円）



新規就農支援② パイプハウス設置補助

野菜や花き等の栽培に必要な施設（パイプハウス）の導入に対する補助を行います。

- 対象 認定新規就農者、認定農業者等
- 補助率 1/3以内
（1㎡あたりの上限あり）

お問合せ先：仙台市経済局農林部農業振興課

TEL：022-214-7327 E-mail：kei008130@city.sendai.jp

名取市

名取でせり農家になりませんか？

宮城は日本一のせりの生産県で、中でも名取のせりは、「仙台せり」のブランドで高い知名度と評価を受けております。しかし近年、生産者の高齢化、作業の大変さで年々生産量や作付面積が減少し、需要に供給が追いついていない状況です。

名取市には経験豊かな農家があり、初めてでも一から栽培技術を習得することができます。

せり栽培に興味のある方、是非ご相談ください。



先輩就農者の声

- 名取市の上余田・下余田地区は地下水が豊富で、穏やかな気候はせりを栽培するのに適しています。
- 約400年前から栽培している歴史ある名取のせりはとてもやりがいのある作物です。この名取のせりを後世に伝えるためにも一緒にがんばっていきましょう。



就農支援体制

- 名取市では仙台せり新規生産者支援事業補助金制度など独自の支援制度をご用意しております。
- 相談については随時行っていますので、お問合せください。

求める人材

- 健康で意欲と根気のある方。
- 地域との交流ができる方。
- 出荷組合と一緒に取組める方。
- 原則、名取市に居住できる方。等

お問合せ先：名取市生活経済部農林水産課

TEL：022-724-7186 E-mail：nousei@city.natori.miyagi.jp

亶理町

まもなく百寿！ 完熟・豊潤・リンゴを作ろう

亶理町は、県内でも有数の「リンゴ」の産地。
そして、あまみたっぷりの蜜を蓄えた完熟状態にしてから収穫・販売する
のが亶理流！
世間では、「幻のリンゴ」とも言われる亶理のリンゴを作ってみませんか？



就農の流れについて

1、就農相談

→就農について、希望や不安なこと、お話を聞かせてください！

2、就農の準備

→技術研修や営農計画、機械、施設整備等々。
大変苦勞します！

3、就農（フォロー）

→定植～管理～収穫まで定期的に支援！
喜びがいつそうこみ上げる！

4、様々な支援

→国、宮城県、町からの様々な公的支援
（補助金、農地、人材）を活用し、経営を
安定させましょう！
まずは、「思い」「考え」を話すことからして
みませんか？

リンゴ栽培

- リンゴの栽培は、定植してから収穫まで、最低3年はかかり、農業の中でも我慢と体力の必要な作物です。
- 亶理のリンゴは、さらに手をかける期間が長い為、より根気強さも求められます。
- しかしながら、長い間手塩にかけた分、収穫の喜びは人一倍高いです。
- 約100年の歴史ある亶理のリンゴ。産地の経験値を活かした先輩方の声や農業関係機関のフォロー体制も充実しています。

お問合せ先：亶理町農林水産課農政班

TEL：0223-34-0503 E-mail：nousui1@town.watari.miyagi.jp

大崎市

大崎市でネギ農家になりませんか？

大崎市は、露地野菜（ネギ）での新規就農者が多く、農業次世代人材投資資金（経営開始型）、経営開始資金の交付者も県内1位です。
ネギ栽培に必要な機械導入補助金が受けられる等、就農後の支援制度も充実しています。
ネギの栽培に興味がある方は是非一度ご相談ください。



就農支援体制

農業イノベーション総合支援事業 ～就農チャレンジ支援～

認定新規就農者に対し、農業機械等の導入を支援します。

*農業機械・施設等環境支援

就農に必要な農業機械の導入や、施設整備を実施する際に補助金を交付します。

- 補助率：対象経費の1/2以内
- 上限額：50万円
- 事業を活用して導入できる機械（例）
 - ・トラクター
 - ・管理機、調整機、皮むき機
 - ・野菜保冷库
 - ・ロータリー、畦塗り機

先輩就農者の声

- 農業大学卒業後に就農しました。農業は手をかけた分、生産量や品質の良さが目に見えるため、やりがいを感じています。
また、人とのつながりがとても大事ですね。就農後に入会した4Hクラブは情報共有できる場として大切だと思っています。



ネギ農家のYさん

お問合せ先：大崎市産業経済部農政企画課 TEL：0229-23-7090

加美町

移住・就農を支援しています

加美町は、宮城県仙台市から北に40kmほどの大崎平野の西側に位置しています。

水稻を始めとした農産物栽培が盛んで、ネギの栽培では県内における一大産地となっており、「なかにいだねぎ」のブランド名で仙台や首都圏へ周年出荷しています。



6次産業化支援

町内に住所を有する者が、町内農林産物を活用して新商品の開発や販路拡大を目指すために機械の導入、施設整備、パッケージのデザイン作成などを行う場合に、加美町新商品開発・販路拡大支援事業により経費の一部を補助します。詳しくは加美町農林課（連絡先 0229-63-3408）にお問い合わせください。

地域おこし協力隊

加美町では、農業の担い手として、加美町に定住し、就農する意欲のある方を「地域おこし協力隊」として募集しています。先輩農家の技術指導を受けながら、最大3年間で就農を目指す方を支援します。詳しくは加美町ひと・しごと推進課（連絡先 0229-63-5611）にお問い合わせください。

移住支援

- 町外から転入される方が加美町に新たに住宅を取得（新築又は中古住宅）する場合に、取得経費の一部（最大100万円）を助成する加美町ファミリー住ま居る（スマイル）住宅取得補助金を交付します。
- 町への移住を検討している方に対し、交通費や宿泊費の一部の補助を行い、先輩農家や地域の方との交流、農地付き空き家などの住まいが見学できる「加美町体験プライベートツアー」を実施しています。
- 移住に関しては、加美町ひと・しごと推進課（連絡先0229-63-5611）へご相談ください。

お問合せ先：加美町農林課 TEL：0229-63-3408 E-mail：nourin@town.kami.miyagi.jp

栗原市

住みたい田舎東北エリアで上位に輝いた地で農業を始めませんか？

宮城県の北部、岩手県と秋田県との県境に位置し、宮城県内でもっとも広い面積を誇ります。水稻を中心とした農業が本市の基幹産業となっています。市内全耕地面積の85%が水田ですが、栗原産仙台牛のブランド化や転作田等を用いた野菜、花き、果樹、特用林産など、畜産・園芸部門にも力を入れています。



就農支援体制

栗原市・栗原農業改良普及センター・農業協同組合・農業委員会が連携し、就農及び就農計画作成を支援します。

相談は随時受け付けております。お気軽にご連絡ください。

移住支援

- 若者定住促進助成事業
- 空き家バンク制度
- 空き家リフォーム助成事業
- 結婚新生活支援事業
- 移住支援金
- お試し移住体験事業

補助金内容については、右のQRコードよりご確認ください。



新規就農者支援策

農業関係の補助事業を多数用意しています。

例えば・・・

◆園芸用ハウス整備支援事業

市内に新設・整備する園芸用ハウスで市が定める園芸振興作物を販売目的で栽培する場合、経費の一部を補助します。

- 対象経費：園芸用ハウスの新設及び中古ハウスの再生に要する経費
- 補助率：対象経費の1/3以内（上限50万円）

その他の補助金は右のQRコードよりご確認ください。



お問合せ先：栗原市農林振興部農政園芸課 TEL：0228-22-1135 E-mail：nosei@kuriharacity.jp

石巻市

移住から就農までサポートします

比較的温暖で降雪量が少ない気候を生かして、施設園芸をはじめ、稲作・畜産がバランス良く展開されています。市では、シェアハウス機能を持つ【石巻市農業担い手センター】で『農業担い手育成事業』を実施しています。移住から就農までご希望の就農スタイルに合わせ、総合的な伴走型の支援を行っております。ぜひ一度ご相談ください。

移住支援

【シェアハウス】

現在市内1か所（桃生町）で運営しております。新たな土地での新生活におけるハードルを少しでも低くするため、資金的な負担の軽減、仲間のいる暮らしのご提案を行っております。

就農相談会

毎月、第二・第四土曜日に個別就農相談会を実施しております。オンライン・オフラインで対応しております。お気軽にお問い合わせください。



就農体験

宮城県内の生産者をゲストに招き、就農までの過程や現状を知る「石巻農学」や、石巻での「農」のある暮らしを体験するプログラムである「お試し移住ツアー」を実施しております。開催日程についてはInstagram (@ishinomakishi.nnc) をご確認ください。



お問合せ先：石巻市農林課 TEL：0225-95-1111 E-mail：isindustry@city.ishinomaki.lg.jp
石巻市農業担い手センター（運営：一般社団法人イシノマキ・ファーム）
TEL：0225-90-4748 E-mail：contact@ishinomaki-farm.org

東松島市

将来地域の中心経営体として
活躍できるようにサポートします！

東松島市は、太平洋沿岸に面し、冬場の雪も少なく日射量も多い恵まれた環境から、古くから春野菜を中心に産地化されてきました。石巻青果花き地方卸売市場が市内に立地しているため、少量多品目の野菜づくりが盛んな地域です。

これまでも宮城県内で初めてとうもろこし「味来」を産地化したり、今では全国で知られている「ちぢみほうれん草」は、本市（旧矢本町）が発祥とされており、園芸品目を定着する土壌がチャレンジ精神の高い生産者を育てます。



“東松島市独自” 新規就農支援事業補助金

市内在住者で市内で農業を始めた新規就農者への補助金として、月額30,000円（年間最大36万円、最長3年間）を交付します。

※詳しい交付要件等はお問い合わせください。

東松島市、東松島市農業委員会、石巻農業改良普及センター、JAいしのまき等が一体となり就農を支援します。

農業を始めたい人向け 宿泊施設（短期滞在用）

就農希望者・新規雇用就農者・認定新規就農者が利用できる「新規就農者技術習得管理施設」を完備。

利用の流れ等については、市ホームページからご確認ください。



お問合せ先：東松島市 産業部 農林水産課
TEL：0225-82-1111 E-mail：nousei@city.higashimatsushima.miyagi.jp

登米市

登米市で農業を始めたいあなたを応援します！

年間3千トンを出荷し、約8億円の売り上げなど県内一の生産量を誇る登米市のきゅうり。国の指定産地となっており、県農産物品評会で最高賞を受賞する農家がいるなど品質も折り紙付です。

登米市では、新規就農を希望する皆さんへ関係機関が一丸となって相談から研修・就農までを支援する伴走型の体制を構築しています。また、経営開始時に市独自の就農支援策により支援を行っており、登米市へ移住し農業を始めたい方への研修支援に対応しております。

登米市で農業を始めませんか。

就農支援体制

- 園芸用ハウス整備事業
- 園芸用機械整備事業
- 登米農業マイスター事業

就農支援体制

- 就農相談会（毎月第2水曜日）
県普及センター、農協、農業委員会、市が一丸に会して就農相談会を開催。相談カルテを事前に作成し、規就農相談者への対応をスムーズに行っています。また、就農相談フェスト等へも参加しております。お気軽に足を運んでみてください！

移住・研修支援

- みやぎ農業研修生滞在施設への入居
新規就農希望者が自宅以外の市内農家等で研修を行う場合、優先的に入居できます。（最長5年）



お問合せ先：登米市産業経済部 産業総務課 農業経営支援係

TEL：0220-34-2716（直通） E-mail：sangyosomu@city.tome.miyagi.jp

南三陸町

森里海人のちめぐるまち
南三陸で農業をはじめよう

南三陸町は太平洋沿岸に位置し、ラムサール条約登録湿地の志津川湾を有する豊かな自然に恵まれた地域です。水稻、畜産のほかに菊やねぎなどの生産が行われてきました。近年では、こまつなや中山間地の特色を活かしたりんご、桃などの果樹のほか、ワイン用ブドウ、枝もの用クロマツの栽培なども行われています。

海と山の幸にも恵まれた南三陸町に興味を持っていただき、ここでの就農・移住をぜひ検討してください。



就農支援体制

南三陸町、気仙沼農業改良普及センター、新みやぎ農業協同組合、農業委員会が一体となって就農を支援します。

就農相談は随時受け付けています。お気軽に下記の担当までご連絡ください。

先輩就農者の声

- 20代女性 露地果樹・野菜あわせて65a。
収穫した果樹・野菜を使用したクレープの販売も行っています。
- 30代女性 藍10a 麦類5a
藍を活用した藍染体験や宿泊研修を提供。自家製麦のパンも提供しています。
- 40代男性 セリ22a

移住支援

- 健康で農業に意欲のある方。
- 地域との交流ができる方。
- 南三陸町に居住できる方。
（南三陸町移住・定住支援センターで相談を受け付けています）



お問合せ先：南三陸町農林水産課

TEL：0226-46-1378 E-mail：nourin@town.minamisanriku.miyagi.jp